

先端科学技術研究科 修士論文要旨

所属研究室 (主指導教員)	知能コミュニケーション (中村 哲 (教授))		
学籍番号	2111138	提出日	令和 6年 1月 19日
学生氏名	杉本 浩之		
論文題目	音響および深層学習モデルの中間表現を特徴量とした音声エンタレインメントの分析		
要旨			
<p>音響エンタレインメントとは、会話相手に対する音響特徴量における適応である。本研究では、音響エンタレインメントを話者や発話の情報、会話スコア、および語彙情報を用いて分析する。</p> <p>分析結果より以下のことが明らかとなった。第一に、音響エンタレインメントは話者の職業や会話中の立場、そして発話のタイミングや意図に影響を受ける。第二に、音響エンタレインメントは対話相手の共感や信頼、関心の程度に関連すると同時に、音響特徴量だけでなく深層学習モデルの中間表現から得た特徴量が関連性の分析に有効である。第三に、音響エンタレインメントが生じていない発話においては、語彙特徴量におけるエンタレインメントの程度も小さくなる。</p>			